

# 人口減少社会と情報化・国際化への対応に焦点をあてた遠隔教育



熊本県高森町教育委員会事務局  
審議員兼教育CIO補佐官 石井佑介

- 1 はじめに
- 2 高森町新教育プランについて
- 3 遠隔教育について
- 4 おわりに

# 1 はじめに 熊本県高森町の概要



- 位置  
九州の中央部      熊本県最東端
- 人口  
約 6,000人
- 学校  
高森中央小学校 ( 213名 )  
高森中学校 ( 150名 )  
高森東学園義務教育学校 ( 41名 )

17

令和3年(2021年)5月30日 日曜日

熊日新聞

(第3種郵便物認可)

## KUMA TOMO | Sunday |

高森中央小の児童らとオンラインで交流される天皇、皇后両陛下の赤坂御所(宮内庁提供)

高森中央小の児童らとオンラインで交流される天皇、皇后両陛下 = 12日、高森町(代表撮影)



# 高森中央小 両陛下と交流

たかもりちゅうおうしゅうりょうへい か こうりゅう

「天皇、皇后両陛下」の優しさに触れることができた。高森町の高森中央小の6年生が、今月12日、両陛下とオンラインで交流しました。先進的な取り組みから注目されている情報通信技術(ICT)を活用した授業などについて両陛下は、鑑賞され児童たちを笑顔で励ました。くまTOMOと連携した新聞づくりの授業も話題になりました。(藤山裕作)

「この日にわざわざ視察、例年は学校を直接訪問されていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年初めてオンラインになり、視察中に高森中央小と鹿儿岛県三島村の三島小が同時に行われました。高森町は2012年から小中学校に電子黒板やタブレット端末を導入し、オンライン授業やプログラミング教育などに力を入れています。両陛下は町の紹介や授業の様子などをまとめた動画を視聴されました。その後代表の6年生4人が動画鑑賞後に両陛下と交流。優しい笑顔で語り掛けられる両陛下に「緊張したけどもお話しできて安心できました」と、児童たちが話していました。谷藤日々樹さんは、皇后さまからの「学校生活は何が楽しいですか」との質問に、「みんなできて強したり、話したりするのが楽しいです」。

「ICTやプログラミングの授業については」「難しいですが」と尋ねられました。「難しいけど

とびりがいがありまして」と山口なずなさん。4年生の時、くまTOMO編集室と連携して取り組んだ「新聞づくり」については、「授業を受けてみて、新聞の読み方や見方は変わりました」と眞野・林芽依さんが「いろいろな記事を読むようになりました」と答えると、両陛下はうなずかっていたそうです。

また木村利和さんは「皇后さまがされた。一生の思い出になりました」と感動していました。交流は予定時間をオーバーするほど盛り上がりました。両陛下は、熊本地震や新型コロナウイルス感染症の被災者を支援つお言葉も述べ、有意義な学校生活を送ってくださいて、児童たちにエールを送られました。



天皇、皇后両陛下とオンラインで交流する高森中央小の児童ら

※天皇、皇后両陛下が視聴された、高森中央小のICT教育などをまとめた動画はQRコードから見る事ができます。



### 高森町の小中学校導入 「タブレット図書館」

高森町の小中学校で、はじめてのタブレット端末を使って電子書籍や昨日の記事コンテンツを読む「タブレット図書館」を導入しています。子どもたちが読書を楽しむだけでなく、授業での活用も始まり「新しい学び」が進化しています。タブレット図書館は、高森町と熊本日日新聞社が連携して作りました。熊本日日新聞(東京)所蔵の電子書籍などを、定期的に入れ替えながら約20冊を自由に読むことが可能。約450人の小中学校生が同時に同本を閲覧できるのが特長です。児童生徒たちに人気の書籍を紹介する「よかねらんキ

### 熊日と連携、授業にも活用

「歴史マンガが楽しい」との声が多く聞かれます。くまTOMOの記事などを活用したデジタル教材の研究も進んでいます。昨年10月の利用開始から10月の利用開始は、200冊の利用がありました。児童が「読みたい」「読みたい」という声が多く聞かれます。くまTOMOの記事などを活用したデジタル教材の研究も進んでいます。昨年10月の利用開始から10月の利用開始は、200冊の利用がありました。児童が「読みたい」「読みたい」という声が多く聞かれます。



高森町タブレット図書館専用開始 2020年10月、高森町

# 1 はじめに 高森町「教育DXの軌跡」オンラインセミナー

熊本県高森町の12年間にわたる教育DXの軌跡について有識者4名が解説

## 熊本県高森町「教育DXの軌跡」 オンラインセミナー（ご案内）

熊本県高森町から新たな教育の風を興すべく、町・教育委員会・学校が三位一体となって推進してきた教育DXについて、平成24年度から12年間の軌跡を振り返るオンラインセミナーを下記のとおり開催します。

本セミナーでは、長年、高森町の教育に携わっていただいた有識者の方々によるトークセッションを通じて、教育DX推進のポイントを明らかにします。きっと多くの自治体の参考になると思いますので、ご参加いただきまようご案内申し上げます。

期 日：令和6年7月24日（水）

時間帯：午後6時から7時

定 員：100名程度

費 用：無料

参加方法：ZOOMによるオンライン参加

講師：

山本朋弘 中村学園大学教育学部 教授  
清水康敬 東京工業大学 名誉教授  
堀田龍也 東京学芸大学大学院 教授  
新地辰朗 宮崎大学 理事・副学長  
高谷浩樹 内閣官房 内閣審議官  
草村大成 熊本県高森町 町長  
古庄泰則 熊本県高森町教育委員会 教育長

主催：熊本県高森町教育委員会

後援：熊本県教育委員会

参加申込は、QRコードまたは以下からお願いします。

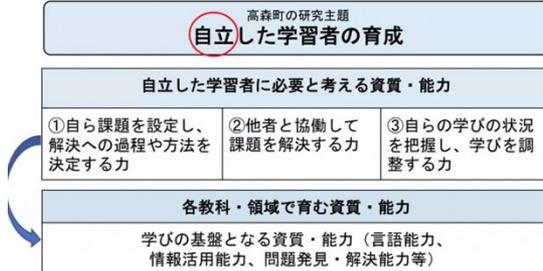
⇒[参加申込](#)



文部科学省大臣官房審議官  
高谷 浩樹 氏

## 高森町の教育研究の目標

### 高森町の研究



東京学芸大学教職大学院教授  
堀田 龍也 氏

## プログラミング教育は授業改善の1手法



中村学園大学 教授  
山本 朋弘 氏

多様な遠隔教育＜実践集約＞(TV会議システム活用)平成27年度 文部科学省実証事業採択  
第5章 子どものコミュニケーション力を高める高森町の学び

- 専門家に支援を求める、コミュニケーション(力)
  - 博物館学芸員から解説を受け、地図図を活用可能に、
  - 阿蘇火山噴火の影響を科学的に思考/専門家に問いかける姿勢
- 相手を意識する、コミュニケーション
  - 異なる学年や学校種との、相手の興味・理解に配慮した表現
  - 家族・友達とのコミュニケーション、「いつ」「誰に」「何をしたか」
- 図式等を併用する、コミュニケーション
  - Web共有ボード、思考ツール(Xチャート、Wチャート等)を活用
  - 整理・関連付けとともに、理解・協議を深化
- ALTと高める英語コミュニケーション
  - ジェスチャー、表情、視線、声のトーンも駆使する非言語コミュニケーション
  - 過度な負担をかけることなく、多くの英語教育へ(1人の)ALTの参画実現

学習活動を指定した意図的なデザイン

宮崎大学理事・副学長  
新地 辰朗 氏

## 2 高森町新教育プラン（平成24年4月策定：27年4月、31年4月、令和5年4月改訂）

### 町長のマニフェスト

- 町づくりは人づくり、人づくりは町づくり
- 情報化を基盤とする「町づくり」
- 誇りと夢と元気を生み出す教育による「町づくり」
- 教育の情報化と教育環境の整備

### 高森町の教育改革

#### 1 教育は人なり 〈風を興す〉

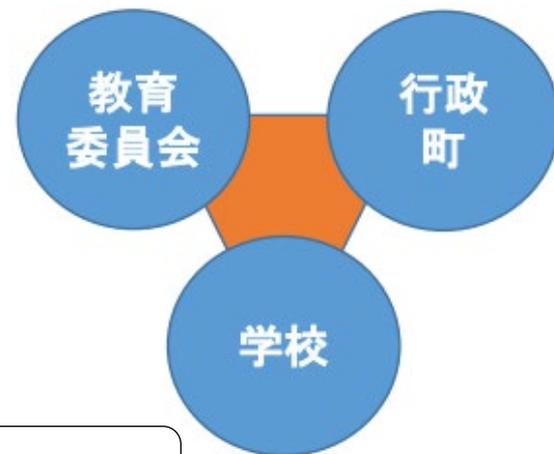
- (1) 教職員ファースト（教育研究会の活性化）
- (2) 「高森の先生たちが風を興している」

#### 2 確かな教育ビジョン 〈風を読む〉

- (1) 高森町新教育プラン(平成24年3月～)
- (2) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育、ICTの位置付け

#### 3 ビジョンの共有 〈風に乗る〉

- (1) 町を挙げての教育改革
- (2) 町長の施策に乗る。議会の支援を得る



## 2 高森町新教育プラン (平成24年4月策定：27年4月、31年4月、令和5年4月改訂)

### 高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育

#### <重点施策>

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育

#### <目標>

- 1 高森の子ども達に「**確かな学力**」と「**豊かな心**」を醸成する。
- 2 高森の地域性を生かした「**地域とともにある学校づくり**」を推進する。
- 3 高森町行政と連携した「**教育環境の整備**」を推進する。
- 4 高森町教職員の資質を高める「**高森町教育研究会の活性化**」を図る。

## 2 高森町新教育プラン (平成24年4月策定：27年4月、31年4月、令和5年4月改訂)

※平成26年度から学校のICT化を推進するリーダーとしてCIO制度を導入

文部科学省・県教育委員会・外部有識者

町長・町議会

指導・助言



共有

高森町教育委員会

教育CIO・CISO (教育長)、教育CIO・CISO補佐官 (審議員)、ICT支援員

### 高森町教育DX推進協議会

(有識者の継続的な支援)



宮崎大学  
新地 辰朗氏



東京学芸大学大学院  
堀田 龍也氏



中村学園大学  
山本 朋弘氏

### 高森町教育研究会

学校CIO・CISO (各学校長)

運営委員会

CIO補佐官会議

各部会

学力充実

英語教育

ふるさと教育

特別支援

すこやか

事務

全員研修会・公開授業

## 2 高森町新教育プラン (平成24年4月策定：27年4月、31年4月、令和5年4月改訂)

- ◆ H24から段階的に導入
- ◆ 教師の活用→児童生徒の主体的活用へ

### STAGE 4



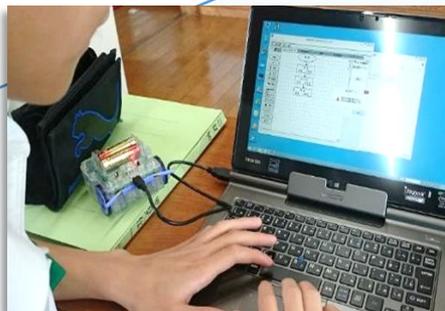
- クラウド活用 (個人ID)
- 全家庭Wi-Fi環境整備

### STAGE 3



- 遠隔教育
- プログラミング教育

### STAGE 2



- タブレット端末 (1人1台)
- 校務、学習支援ソフト
- 無線LAN整備

### STAGE 1



- 電子黒板、実物投影機常設 (全教室)
- デジタル教科書完備

持ち帰り学習の実践は  
7年目を迎える

遠隔教育の実践は  
9年目を迎える

### 3 遠隔教育について (平成27年度～29年度の文部科学省指定事業より)

#### 遠隔授業の変遷



1年目

まずはつないでみる

- ・一斉学習中心(1単元に1時間接続)
- ・相手意識をもった発表の工夫



2年目

目的や意図を明らかにする

- ・接続場面の限定(1単元に数回接続)
- ・専門性をいかした遠隔合同授業実践



3年目  
以降

効果のある遠隔授業の抽出・実践

- ・5つの視点を設けた実践
- ・協働制作・評価活動の研究

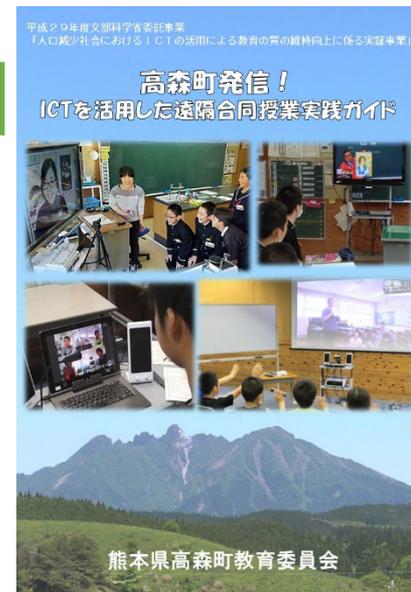
### 3 遠隔教育について (平成27年度～29年度の文部科学省指定事業より)

#### 効果を期待しやすい学習場面 (平成29年度時点)

取組み易い  
接続：簡単  
実践：多い

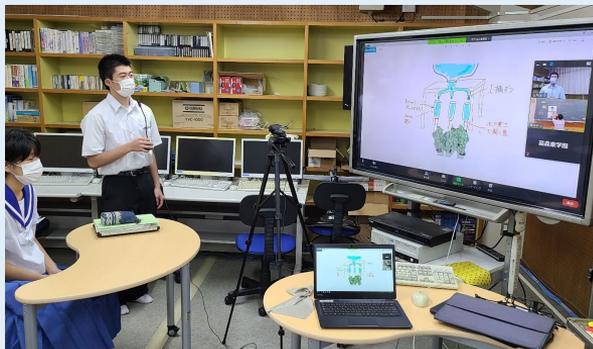
- ① 多様な考えで学び合う学習活動
- ② コミュニケーション力育成を図る学習活動
- ③ 地域の良さや違いに着目した学習活動
- ④ 専門家や専門施設を活かした学習活動
- ⑤ 協働で製作・評価する学習活動

取組み難しい  
接続：複雑  
実践：少ない



# 3 遠隔教育について

## 他校との遠隔合同授業



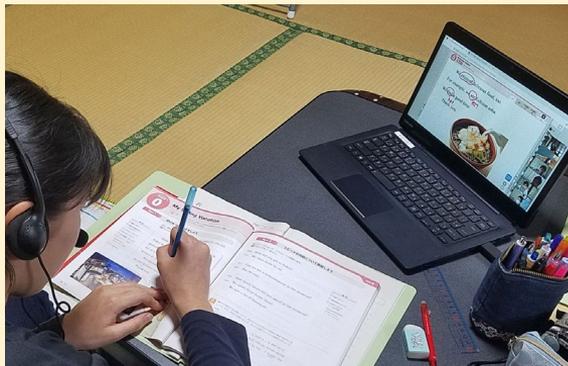
(単元を通して計画的・継続的に接続)

## 外部人材の有効的な活用



(目的や意図に応じた接続)

## 臨時休業中等のオンライン授業



(全学年でいつでも実施可能な環境)

## 企業と連携した授業づくり

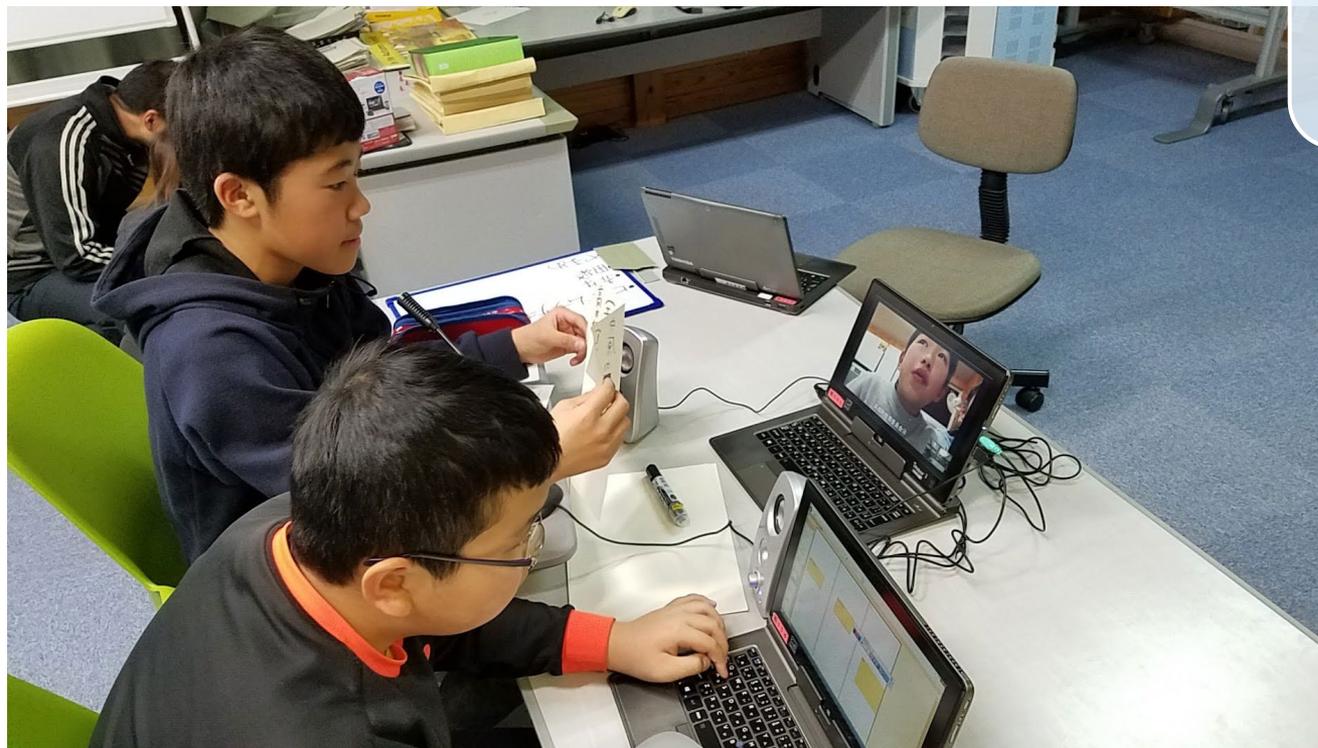


(同時・非同時での継続的な支援)

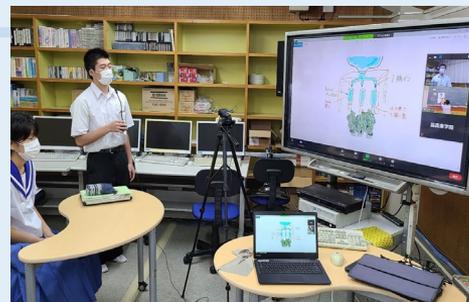
### 3 遠隔教育について

#### 【実践事例①】

#### 小規模校同士の計画的・継続的な遠隔合同授業



#### 他校との遠隔合同授業



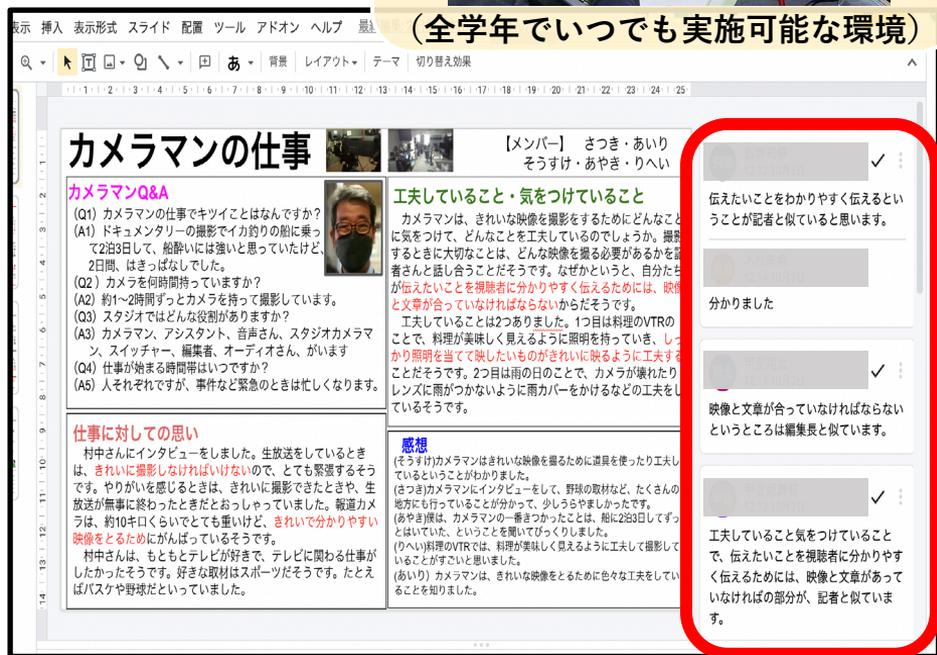
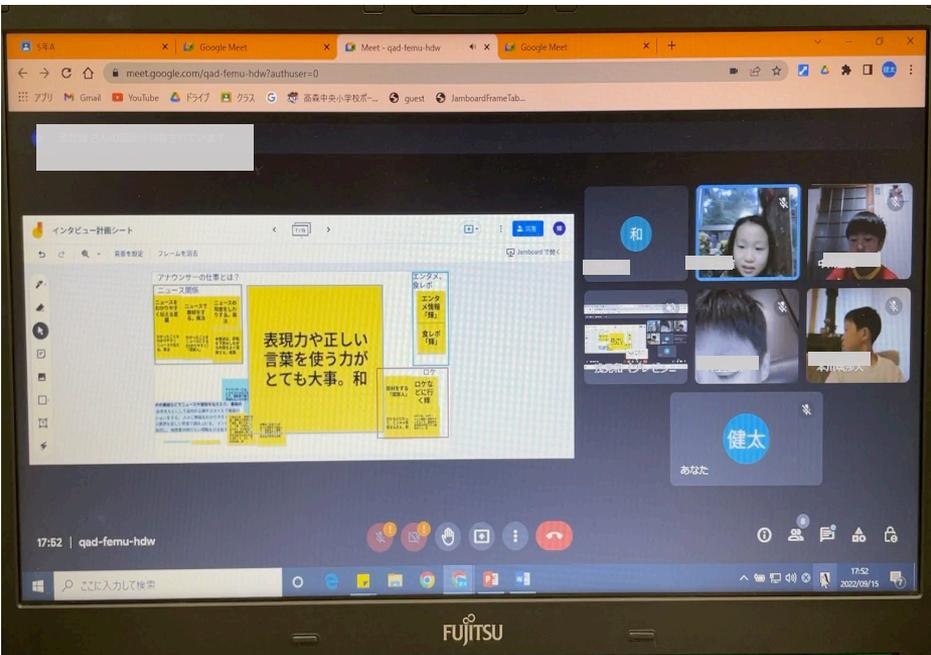
(単元を通して計画的・継続的に接続)

# 3 遠隔教育について

## 【実践事例②】

### 端末を活用した授業と家庭学習の連動

### 臨時休業中等のオンライン授業



### (全学年でいつでも実施可能な環境)

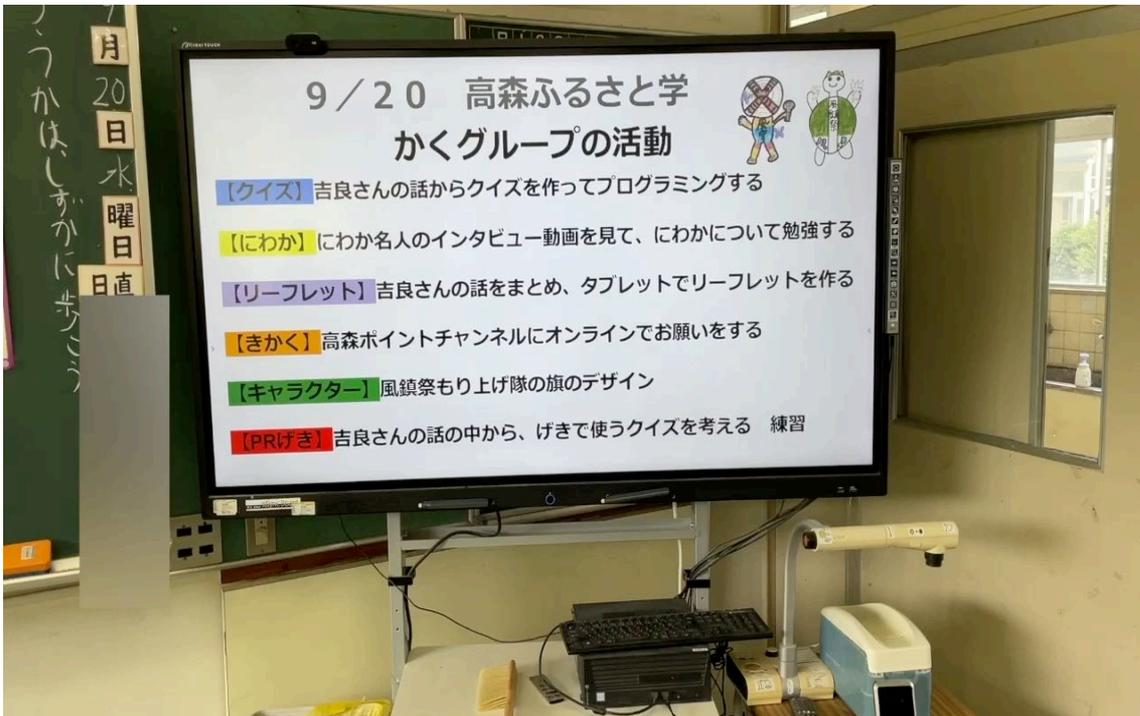
自分たちで時間を設定して家庭で話し合い

コメント機能を活用して家庭で共同編集

# 3 遠隔教育について

## 【実践事例③】

### 学び方を選択したり自己決定したりする授業デザイン



- プログラミングでクイズ作成
- インタビュー動画の視聴
- デジタルリーフレットの作成
- オンラインでインタビュー
- グッズ作成
- 劇の台本作成

4年 高森ふるさと学 (総学)

各班が自分たちで立てた学習計画にそって活動を展開

### 3 遠隔教育について～英語教育の充実～

企業と連携した授業づくり



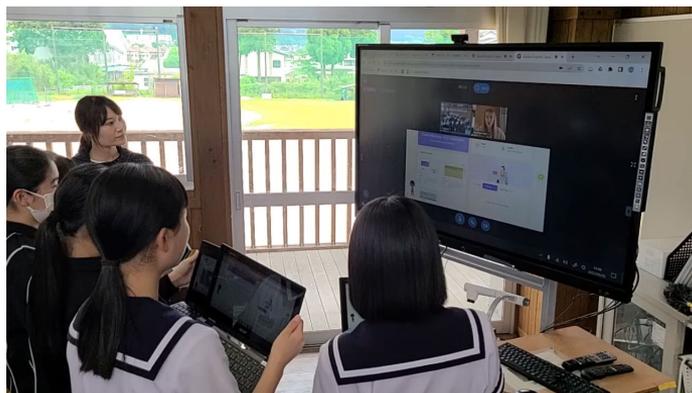
(同時・非同時での継続的な支援)

#### ○令和2年度～ 1対1のオンライン英会話レッスン



- ・小学6年生～中学3年生
- ・受講料は町が全額負担
- ・個人のレベルに応じたカリキュラムを選択
- ・1対1でのALL Englishによる英会話レッスン
- ・教育課程外の活動 (25分×45回)

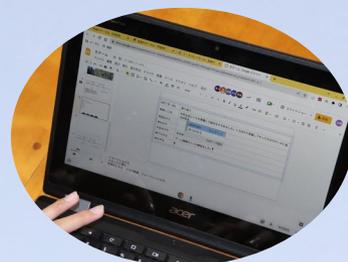
#### ○令和5年度～ 公立学校全国初「CLILオンライン英語プログラム」



- ・小学3年生～中学3年生対象
- ・「英語を学ぶ」ではなく「英語で学ぶ」
- ・**個別最適な学び**と**協働的な学び**の一体的な充実
  - ※個別最適な学び ⇒AIによる個別最適化  
⇒家庭学習の充実
  - ※協働的な学び ⇒グループワーク形式
- ・教育課程内で実施 (年間35時間)



# 熊本県高森町公開授業



第2回

令和6年11月8日(金) 高森東学園義務教育学校  
高森中央小学校

日程

各校3本以上の授業と全体会を予定

全体会

豪華有識者によるトークセッション！  
今、求められている教育について語り合います！



宮崎大学  
理事・副学長  
新地 辰朗氏



東京学芸大学  
教職大学院教授  
堀田 龍也氏



中村学園大学  
教授  
山本 朋弘氏

熊本県高森町

# 教育DX の軌跡

デジタルトランスフォーメーション

編著 / 中村学園大学教育学部 教授  
**山本朋弘** Yamamoto Tomohiro  
東京工業大学 名誉教授  
**清水康敬** Shimizu Yasutaka  
東京学芸大学教職大学院 教授  
**堀田龍也** Horita Tatsuya  
宮崎大学 理事・副学長  
**新地辰朗** Shinchi Tatsuro  
内閣官房 内閣審議官  
**高谷浩樹** Takaya Hiroki

**新たな教育の風を興す  
小さな町の大きな挑戦。**

地方の小規模自治体に取り組んだICT教育。  
その10年間の軌跡を豊富な事例とともに解説。

熊日出版 定価 [本体 1,800円+税]

## 書籍出版！！

高森町の教育DX推進に関わりの深い方々からの寄稿をはじめ、12年間にわたる教育実践をまとめた一冊

令和6年6月30日より県内の書店およびAmazonにて販売開始

